

授 業 概 要

課程	商業実務専門課程	学科	国際情報ビジネス科	科目名	ビジネス理解 II		
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数	
2	通年	必修	講義	30回(コマ) 前期15/後期15	60時間	4単位	
科目担当教員	飯塚 光博			科目に関連する 実務経験の有無	有		
科目に関連する 教員背景	経営コンサルタント、大学通信指導講師、専門学校講師としての実務						
【一般教育目標 (GIO)】							
前期では1年生で学習した企業のゴーイングコンサーン実現に向けたビジネスモデルと人的資源の役割を学習する。後期は社会に必要なライフプランニングやキャリア形成につながる知識を習得する							
【目標行動 (SBOs)】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な価値観、多様性を受け入れる状態が来ている ・ 社会人として果たすべき役割と責任、遵守すべきルールを自覚できている ・ ビジネスパーソンとして社会で「どうありたいか」目標を持っている ・ 主体的に行動し、自らの選択に責任を持つことが理解できている 							
回数	日程	授業計画または学習の主題		回数	日程	授業計画または学習の主題	
1	4/8	授業ガイダンス 1		16	10/21	授業ガイダンス 2	
2	4/15	ビジネスモデル①儲ける仕組み		17	10/28	国際経済①格差社会	
3	4/22	ビジネスモデル②ノンフリル、フリーミアム		18	11/4	国際経済②GDP	
4	5/13	ビジネスモデル③ロングテール、ジレット		19	11/11	国際経済③貿易 自由貿易と為替	
5	5/20	ビジネスモデル④プランニング 1		20	11/18	ビジネス法務①労働法	
6	5/27	ビジネスモデル⑤プランニング 2		21	11/25	ビジネス法務②消費者保護法	
7	6/3	ビジネスモデル⑥発表		22	12/2	ビジネス法務③就職と法律	
8	6/10	ビジネスモデル⑦発表		23	12/9	7つの習慣 私的成功	
9	6/17	組織①組織とは 組織成立要件		24	12/16	7つの習慣 公的成功	
10	6/24	組織②組織形態 役職と職位		25	12/23	ライフプラン①リスクと資産形成	
11	7/1	組織③マネジメント理論		26	12/20	ライフプラン②ライフイベントと資産形成	
12	7/8	組織④モチベーション理論		27	12/27	ライフプラン③人生設計	
13	7/15	組織⑤リーダーシップ理論		28	2/3	ドリームマップ	
14	7/22	前期総復習、考える問題とテキストの問題		29	2/10	後期総復習、自ら考え解答を導出する方法	
15	8/19	期末試験		30	2/17	期末試験	
使用テキスト				参考テキスト			
大学4年間の経営学見るだけノート 宝島社 著者：平野敦士カール 監修 ISBN：978-4-8002-7479-3 (1年次より継続使用)							
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目			
経営学、マーケティング、ビジネスモデル研究、組織論、 アカウントティング&ファイナンス				ビジネス理解 I			
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など			
期末試験 (50%)、平常点 授業態度&発表 (30%) 出席点 (20%)				成績評価：S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/ C(60点以上)/D(59点以下)			

授 業 概 要

課程	商業実務専門課程	学科	国際情報ビジネス科	科目名	ビジネスアプリ応用Ⅰ・Ⅱ			
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数		
2	通年	必修	演習	60回(コマ) 前期30/後期30	120時間	各2単位(4単位)		
科目担当教員	宮内 明美			科目に関連する 実務経験の有無	有			
科目に関連する 教員背景	大学の非常勤講師として勤務 シンクタンク系研修企業にて大手企業に対する研修を多数実施							
【一般教育目標 (GIO)】								
日常業務に必要な、表計算ビジネスアプリケーション技術を習得し、日本企業における日常業務処理の基本を身に付け、情報社会に対応できる人材になる。就職活動につなげる。								
【目標行動 (SBOs)】								
ビジネスアプリケーションソフトの基本であるExcel利活用技術を習得し、就職活動に有利な資格としてMos Excel2019スペシャリストの取得を目指す。								
回数	日程	授業計画または学習の主題			回数	日程	授業計画または学習の主題	
1	04/12	Excel基本操作実習1			16	10/11	MOS Excel総合課題演習1	
2	04/19	Excel基本操作実習2			17	10/18	MOS Excel総合課題演習2	
3	04/26	Excel基本操作実習3			18	10/25	MOS Excel総合課題演習3	
4	05/10	Excel基本操作実習4			19	11/01	MOS Excel総合課題演習4	
5	05/17	Excel基本操作実習5			20	11/08	MOS Excel総合課題演習5	
6	05/24	Excel基本操作実習6			21	11/15	MOS Excel総合課題演習6	
7	05/31	Excel基本操作実習7			22	11/22	MOS Excel総合課題演習7	
8	06/07	Excel基本操作実習8			23	11/29	MOS Excel総合課題演習8	
9	06/14	Excel基本操作実習9			24	12/06	MOS Excel総合課題演習9	
10	06/21	Excel基本操作実習10			25	12/13	MOS Excel模擬1	
11	06/28	MOS Excel機能実習1			26	12/20	MOS Excel模擬2	
12	07/05	MOS Excel機能実習2			27	01/10	MOS Excel模擬3	
13	07/12	MOS Excel機能実習3			28	01/17	MOS Excel模擬4	
14	07/19	MOS Excel機能実習4			29	01/24	MOS Excel模擬5	
15	07/26	前期期末テスト			30	01/31	後期期末テスト	
使用テキスト				参考テキスト				
30時間でマスターExcel2021 (実教出版) ゼロから合格! MOS-Excel365対策テキスト&問題集 (技術評論社)								
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目				
ビジネスアプリ基礎Ⅰ・Ⅱ、情報リテラシⅠ								
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など				
・課題提出 (30%)、授業内参加状況 (30%) ・期末試験 (40%)				総合評価で60点以上で合格とする。				

課程	商業実務専門課程	学科	国際情報ビジネス科	科目名	ホスピタリティ			
学年	学期	履修	授業形態	授業回数	授業時間数	単位数		
1	通年	必修	講義	30回(コマ) 前期15/後期15	60時間	4単位		
科目担当教員	飛鳥 政明			科目に関連する 実務経験の有無	有			
科目に関連する 教員背景	ホテル・レストランサービス関連の業務に従事し、各専門学校にてホテルビジネス科目を担当							
【一般教育目標 (GIO)】								
あらゆる産業における企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多い中、「顧客満足」を実践できる人財が必要とされている。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。								
【目標行動 (SBOs)】								
ホテルのスタッフとして必要なホテルの概要・歴史から、宿泊・料飲・宴会・調理の基礎知識まで、ビジネス全般に必要な「総務・人事」「経理・会計」「広報・マーケティング」の実務を学びます。 ホテルのサービスオペレーションのみならずマネジメント業務を理解し、接客業務はもちろん基礎的な管理業務に従事することができる技術を修得します。								
回数	日程	授業計画または学習の主題			回数	日程	授業計画または学習の主題	
1	4月9日	オリエンテーション			16	10月8日	ビジネスの場でのホスピタリティ・マナー②	
2	4月16日	ルールとマナー			17	10月15日	EQ (感情知能指数) とは何でしょうか?	
3	4月23日	ホスピタリティとは			18	10月22日	TA (交流分析) とは何でしょうか?	
4	5月7日	ホスピタリティ・マナーとは			19	10月29日	エゴグラムを作成する	
5	5月14日	第一印象とは			20	11月5日	積極的な聴き方とは	
6	5月21日	ホスピタリティ・マナーの基本 (挨拶)			21	11月12日	積極的な話し方とは	
7	5月28日	ホスピタリティ・マナーの基本 (笑顔)			22	11月19日	適切な言葉づかいとは	
8	6月6日	ホスピタリティ・マナーの基本 (返事・態度)			23	11月26日	お客さまの心理を理解しよう	
9	6月13日	ホスピタリティ・マインドを理解しよう①			24	12月3日	顧客満足とは何でしょうか	
10	6月20日	ホスピタリティ・マインドを理解しよう②			25	12月10日	NSPとは? 良い職場環境の大切さ	
11	6月27日	ホスピタリティ実践による効果とは			26	12月17日	ホスピタリティを活かしたクレーム対応とは	
12	7月4日	自分のマインド&アクションを確認しよう			27	1月7日	企業や社会のなかで生きるホスピタリティ	
13	7月11日	公共の場でのホスピタリティ・マナー			28	1月14日	企業の社会的責任	
14	7月18日	ビジネスの場でのホスピタリティ・マナー①			29	1月21日	ハラスメントとメンタルヘルス	
15	7月25日	前期期末試験			30	2月4日	後期期末試験	
使用テキスト					参考テキスト			
ホスピタリティ検定3級テキスト 実践!ホスピタリティ 基本コース 一般社団法人ホスピタリティ機構								
この授業の基礎となる科目					この授業を基礎とした科目			
					ホスピタリティ実習			
単位認定の方法及び基準					試験やレポートの評価基準など			
前期 (授業出席率20% + 授業態度10% + 前期筆記試験70%) 後期 (授業出席率20% + 授業態度10% + 後期筆記試験70%) 全て4択問題					各単位認定の合計点 = 100点満点とし、学校の基準による評価とする			

授 業 概 要

課程	商業実務専門課程	学科	国際情報ビジネス科	科目名	ブライダル総論	
学年	学期	履修	授業形態	授業回数		授業時間数
1	通年	必修	講義	30回(コマ) 前期15/後期15		60時間
科目担当教員	小倉 三奈			科目に関連する 実務経験の有無	有	
科目に関連する 教員背景	ブライダルについて学び、資格試験に合格をしている。					
【一般教育目標 (GIO)】						
ブライダル コーディネーターの基礎的な接客対応や商品知識などを総合的なことを学び、毎年1月に行われる「ブライダルコーディネーター技能検定3級」の合格を目指す。						
【目標行動 (SBOs)】						
(前期) ①自分の国の結婚式を把握し、日本の結婚式との違いを学ぶ。 ②グループで新規接客の練習を行ない、接客方法を学ぶ。 (後期) ①日本の「結婚」についての問題点を学び、改善策を考え今後の接客や集客にいかす。 ②「結婚式」を自分自身で考え、お客様にプレゼンすることを想定し発表することにより、ブライダルコーディネーターとして大切なプレゼンテーション能力を身に着ける。						
回数	日程	授業計画または学習の主題		回数	日程	授業計画または学習の主題
1	4月8日	オリエンテーション/各国のブライダルの比較①		16	10月7日	CHAPTER 5 P.85～108
2	4月15日	各国のブライダルの比較②/個人発表① 10分程度		17	10月21日	CHAPTER 6 P.109～126
3	4月22日	発表② 10分程度		18	10月28日	日本の結婚式や晩婚化、少子化等について
4	5月13日	CHAPTER1	P.7～14	19	11月11日	日本の結婚式や晩婚化、少子化等についてのレポート作成
5	5月20日	CHAPTER 2 ①	P.15～25	20	11月18日	「私が考えた結婚式」プレゼン準備
6	5月27日	CHAPTER 2 ②	P.26～32	21	11月25日	同上
7	6月3日	CHAPTER 4 ①	P.48～69	22	12月2日	同上
8	6月10日	CHAPTER 4 ②	P.70～84	23	12月9日	個人発表① 1人10分程度
9	6月17日	CHAPTER 3	P.33～46	24	12月16日	個人発表② 1人10分程度
10	6月24日	CHAPTER 1～4 まとめ		25	12月23日	発表の振り返り
11	7月1日	グループ新規接客練習①～会場、パッケージ商品決め～		26	1月6日	ブライダルコーディネーター技能検定3級 試験対策①
12	7月8日	グループ新規接客練習②～ヒアリングシートと見積書の作成～		27	1月20日	ブライダルコーディネーター技能検定3級 試験対策②
13	7月22日	グループ新規接客練習③		28	1月27日	ブライダルコーディネーター技能検定3級 試験対策③
14	7月29日	グループ新規接客練習④		29	2月3日	期末試験対策
15	8月5日	期末試験 (実技) 1グループ15分程度		30	2月10日	期末試験 (筆記)
使用テキスト				参考テキスト		
ウィネット ブライダルプランナーテキスト				①ブライダルコーディネーターテキスト (スタンダード) ②ブライダル用語辞典		
この授業の基礎となる科目				この授業を基礎とした科目		
単位認定の方法及び基準				試験やレポートの評価基準など		
期末試験、発表、出席率・授業態度、提出物				期末試験60%以上合格。 ※60%以下の場合は再試験を行う。		